

令和2年度 長岡市立図書館の活動評価

令和3年7月28日

長岡市立中央図書館

令和2年度 長岡市立図書館の活動評価について

1 評価の趣旨

図書館法第7条の3の規定に基づき、令和2年度の長岡市立図書館の活動について、次のとおり評価を実施した。評価は、指標に基づく内部評価と長岡市図書館協議会委員による外部評価から構成される。

2 評価の項目

(1) 基本評価（数値目標に対する達成率評価）

数値目標に対する達成率によって評価を行う。

① 利用状況

中央図書館入館者数、個人貸出冊数、予約件数、有効登録者数、実登録者数、インターネットアクセス件数、郷土資料受入点数、窓口対応満足度、大活字本の所蔵冊数、新規購入冊数の割合

（登録率、中央図書館開館日数、特別資料の転載等許可件数は参考数値とする。）

② 管理運営費

図書館費及びその内訳は参考数値とし、評価を行わない。

(2) 重点事項評価

長岡市立図書館の運営方針における重点事項について、重点事業の実績をもとに評価を行う。ただし、項番5と6は内部評価のみとする。

令和2年度重点事項

- 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。
- 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。
- 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。
- 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。
- 5 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
- 6 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

3 評価の方法

(1) 図書館の内部評価

- ・項目ごとに数値目標と比較するなどして算定し、評価する。
- ・「基本評価」、「重点事項評価」とともに、AAからCまでの4段階の評価とする。

区 分	評価区分・内容
基本評価	AA … 数値目標を大きく上回った。(＋10%超) A … 数値目標を達成・上回った。(0～＋10%) B … 数値目標を下回った。(0未満～－10%) C … 数値目標を大きく下回った。(－10%超)
重点事項評価	AA … 優れた取組が多く、十分成果が上がっている。 A … 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている B … 一定の成果は上がっているが、工夫等が必要である。 C … 成果が上がっておらず、改善や見直しが必要である。

(2) 図書館協議会による評価

○ 協議会の開催

- ・日 時 令和3年2月26日(金曜日)
- ・会 場 長岡市立中央図書館美術センター

○ 協議会の意見のとりまとめ

- ・上記協議会における各委員の意見を委員長がとりまとめ、図書館協議会による評価とする。

4 評価の概要

基本評価は、評価対象の10項目中4項目がA評価となり、前年度の2項目を上回る結果となった。B評価は前年度の8項目から4項目へと減少し、C評価は2項目であった。

重点事項評価は、事業別評価の19項目では、AA評価が1項目、A評価が15項目、Bが3項目となった。また、総括評価では、A評価が5項目、B評価が1項目であったことから、全体としては、優れた取組がいくつかあり、成果が上がっているといえる。

5 図書館協議会意見

(1)「基本評価」について

- ・来年度以降、コロナ禍とコロナ終息後の目標設定を誤り、図書館の活動評価が損なわれることを懸念している。

(2)「重点事項評価」について

- 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。
 - ・内部評価のとおりとする。
- 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。
 - ・内部評価のとおりとする。
- 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。
 - ・ホームページやフェイスブックの掲載（更新）回数やアクセス数を考慮すると、これが来館につながっていないという評価は非常に手厳しい。広報の評価はAとしてもよいのではないか。（協議の結果、Bのままとする。）
- 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。
 - ・内部評価のとおりとする。
- 5 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
 - ・内部評価のとおりとする。
- 6 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。
 - ・内部評価のとおりとする。

【目次】

I 基本評価について

1 利用状況	6
2 管理運営費	7

II 重点事項評価について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について	8
(2) 重点事業の総括評価について	9
(3) 個別事業の実施結果について	10
① 貴重資料の活用	10
② 郷土資料の充実	11
③ 古文書等の歴史資料の収集・保存・活用	12
④ 歴史公文書の収集・保存	14
⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用	15

2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について	17
(2) 重点事業の総括評価について	17
(3) 個別事業の実施結果について	18
① 図書館蔵書の充実	18
② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実	19
③ 図書館の環境整備	20

3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について	21
(2) 重点事業の総括評価について	22
(3) 個別事業の実施結果について	23
① 所蔵資料展	23
② 広報について	24
③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	25

4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。	
(1) 重点事業の事業別評価について	27
(2) 重点事業の総括評価について	28
(3) 個別事業の実施結果について	29
① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	29
② 子ども向け図書館サービスの充実	30
③ 学校向け図書館サービスの実施	31
5 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。	
(1) 重点事業の事業別評価について	33
(2) 重点事業の総括評価について	33
(3) 個別事業の実施結果について	34
① 利用者アンケートの実施	34
② 友の会事業	35
③ ご意見ポスの設置	36
6 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。	
(1) 重点事業の事業別評価について	37
(2) 重点事業の総括評価について	37
(3) 個別事業の実施結果について	38
① 外部研修・遠隔研修	38
② 職場内研修	39

I 基本評価について

1 利用状況

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		達成率 (%)	評価
			達成目標値	年度末実績		
入館者数(中央図書館・人)	320,532	312,564	218,800	238,603	109	A
個人貸出冊数(冊)	1,595,593	1,651,636	1,651,600	1,536,865	93	B
予約件数(件)	201,286	208,806	217,100	240,407	107	A
有効登録者数(人)	45,719	45,258	45,200	41,574	92	B
登録率(%)	16.94	16.86	—	15.68		参考 数値
実登録者数(人)	35,196	34,223	34,200	28,491	83	C
登録率(%)	13.04	12.75	—	10.74		参考 数値
インターネット アクセス件数(件)	277,716	274,419	274,400	273,056	99.5	B
中央図書館開館 日数	295	297	—	292		参考 数値
特別資料の転載等 許可件数	136	123	—	93		参考 数値
郷土資料受入点数	2,627	2,670	2,700	2,048	76	C
窓口対応満足度 (大変よい+よい) %<中央館のみ>	87.2	86.9	86.0	87.9	102	A
大活字本の所蔵 冊数	6,929	7,011	7,000	7,033	100.4	A
新規購入冊数の 割合	3.6% [30,668冊]	3.3% [28,644冊]	3.3%	3.1% [26,339冊]	94	B

*有効登録者数は貸出カード有効期限内の登録者数

*実登録者は有効登録者のうち年度内に1度以上貸出のあった登録者数

2 管理運営費

項 目	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	評価
図書館費 (各年度の決算額・千円)	361,413	387,580	401,469	
(うち施設管理経費)	259,323	261,280	269,411	
(うち資料費)	60,413	53,479	50,960	
(うち事業費)	41,677	72,820	80,098	

Ⅱ 重点事項評価について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について

①貴重資料の活用

事業概要	所蔵している貴重資料を定期的にエントランスで展示する。また、貴重資料について、デジタル化・公開していく。	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・エントランス展示で貴重資料の展示公開を充実させ、展示替えをFacebookにてお知らせした。 ・貴重資料のデジタル化のための資料提供を行った。

②郷土資料の充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市や新潟県に関係する歴史・人物・民俗などの郷土資料を収集し登録・保存活用する。 ・話題になった郷土資料を迅速に収集する。 	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・12月に開催した「新収蔵資料展～長岡市立図書館の父 互尊翁が遺した著作を中心に～」で当館所蔵の郷土資料を展示し、活用できた。

③古文書等の歴史資料の収集・保存・活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催、長岡市史双書の刊行などを行う。 ・古文書等の歴史資料の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため順次公開する。 	
評価	A	評価理由
		<p>古文書等の歴史資料の適切な収集・整理・保存・活用に努め、市民に向けて目録を公開し、長岡市史双書の刊行や市民からの閲覧・調査相談などで活用した。</p>

④歴史公文書の収集・保存

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存のうえ、目録を作成する。 災害復興関連の歴史公文書は長岡市災害復興文庫として整理する。 	
評価	A	評価理由
		庶務課等の関係各課と連携して、歴史公文書の適切な収集・整理・保存に努めた。

⑤長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。 災害復興関連の歴史公文書を長岡市災害復興文庫の資料とする。 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新などの連携を強化する。 長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。 刊行物の発行などをおして、県内外に情報発信を行う。 	
評価	A	評価理由
		長岡市災害復興文庫事業を推進し、市民協働と情報発信に努め、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国発信した。これにより、他の被災地の自治体・関係機関との連携につながった。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由	
A	貴重資料を有効に展示活用するとともに、話題の本も含め幅広い郷土資料の収集に努めた。また、長岡市災害復興文庫事業を推進し、長岡市資料整理ボランティアとの市民協働、全国の関係機関・団体との連携などをおして、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国発信した。	

(3) 個別事業の実施結果について

① 貴重資料の活用

<目的・概要>	
<p>中央図書館のエントランスでの貴重資料展示回数を確保するとともに、図書館報「図書館の窓から」でお知らせし、市民に所蔵資料を紹介する。</p>	
エントランス展示	資料デジタル化
 <p data-bbox="263 1189 518 1220">互尊翁関係資料展示</p>	 <p data-bbox="858 795 1220 824">越後佐渡デジタルライブラリー</p>  <p data-bbox="954 1176 1129 1207">「長岡みやげ」</p>
<実績>	
<p>① 資料デジタル化 新潟県立図書館の越後佐渡デジタルライブラリーでのデジタル化資料数 14点</p> <p>② エントランス展示回数 (令和2年度) 12回 (令和元年度実績) 14回</p> <p>「図書館の窓から」で紹介している所蔵資料を展示するほか、所蔵資料展などのタイミングに合わせた資料展示などを12回行い、貴重資料を数多く市民に公開する機会となった。</p>	
<課題・今後の方向性>	
<p>財政状況が厳しい中、資料の新規デジタル化は難しくなっている。これからは既存のながおかネットミュージアムを維持しながら、所蔵資料を館内の展示などで活用していきたい。</p>	

② 郷土資料の充実

<目的・概要>

- ・長岡市内の郷土資料を中心に、新潟県内の郷土資料についてより一層の充実を図る。
- ・行政からの収集のほか、新聞・雑誌、書店など出版情報の収集を行い、幅広い資料の収集に努める。
- ・図書館未設置地域に関する郷土資料は中央図書館にて継続して収集する。

<実績>

全館（中央館と地域館すべて）の郷土資料蔵書数

	全館郷土資料蔵書数 (各年度3月31日現在の所蔵)	前年比 増加冊数
平成27年度	91,143冊	3,090冊
平成28年度	94,465冊	3,322冊
平成29年度	96,412冊	1,947冊
平成30年度	99,039冊	2,627冊
令和元年度	101,016冊	1,977冊
令和2年度	102,669冊	1,653冊

- ・新聞・雑誌に掲載された郷土資料について情報を収集し、迅速な発注・寄贈依頼、登録を行った。
- ・コロナの影響による特別休館中に郷土資料の目次情報を入力を行い検索の利便性向上を図った。
- ・各支所地域で出版された資料が図書館資料として寄贈されることが増えて、広報や寄贈依頼をつづけてきた成果となっている。
- ・12月に開催した「新収蔵資料展～長岡市立図書館の父 互尊翁が遺した著作を中心に～」で当館所蔵の郷土資料を展示した。

<課題・今後の方向性>

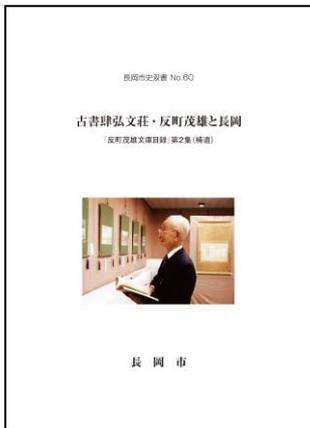
- ・郷土資料の収集においては、地域の情報を新聞や出版案内を基に情報収集するとともに、県内の情報を含めて網羅的に収集する必要がある。
- ・郷土資料の展示方法を工夫したり見出しをつけるなど、利用者の調べものに役立つよう整備を行いたい。

③ 古文書等の歴史資料の収集・保存・活用

<目的・概要>

- 郷土長岡の歴史を知り、愛着をもってもらうため、文書資料室が所蔵する郷土資料を活用し、各種講座の開催、長岡市史双書の刊行を行う。また郷土の歴史資料を守るため、歴史資料の取扱いについて相談を受け付けている。
- 古文書等の歴史資料の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため順次公開する。

長岡市史双書No.60



古文書解読講座のテキストバックナンバー



<実績>

古文書等の歴史資料の保存・公開に努めた。古文書等の歴史資料を活用し、長岡市史双書の刊行を行い、郷土長岡の歴史を知る機会を市民に提供した。

各種講座の中止に伴う代替措置として、古文書解読講座テキスト（長岡郷土史研究会発行）のバックナンバーセール（昨年度を受講生対象）への協力などをおして、市民に学習の機会を提供した。

（今年度実績）

- 各種講座の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

講座名	回数	参加人数	会場
古文書解読講座「古文書のいろは」	3回	中止	中央公民館
古文書解読講座「古文書に見る長岡のすがた」	各4回	中止	中央公民館
		中止	中央図書館
長岡市史双書を読む会	2回	中止	中央図書館

※古文書解読講座テキストのバックナンバーセールの頒布冊数 174冊

- 新たに公開した古文書等の歴史資料の件数 26件
（内訳：寄贈21件、寄託1件、移管3件、その他1件）
- 長岡市史双書No.60『古書肆弘文荘・反町茂雄と長岡 〔反町茂雄文庫目録〕第2集（補遺）』
600部刊行

- ・歴史資料取扱い相談受付数 10件（うち訪問調査回数 4件）

（昨年度実績）

- ・各種講座の開催

講座名	回数	参加人数	会場
古文書解読講座「古文書のいろは」	3回	115人	中央公民館
古文書解読講座「古文書に見る長岡のすがた」	各4回	166人	中央公民館
		62人	中央図書館
長岡市史双書を読む会	2回	86人	中央図書館

（参加人数は延べ人数）

- ・新たに公開した古文書等の歴史資料の件数 14件
（内訳：寄贈10件、移管1件、寄託1件、購入2件）
- ・長岡市史双書No.59『新潟県産業博覧会 長岡博の開催と戦災復興・産業振興』 600部刊行
- ・歴史資料取扱い相談受付数 10件（うち訪問調査回数 3件）

<課題・今後の方向性>

- ・古文書解読講座を共催で開催する長岡郷土史研究会が行ったテキストのバックナンバーセールは、大変好評であった。郷土長岡の歴史を古文書等の歴史資料から学びたいという市民ニーズを受け止め、長岡市史双書を読む会も含めて、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで各種講座の開催の在り方を検討していきたい。
- ・古文書等の歴史資料は、所有者の家の建て替えや代替わりで、個人での保存が難しく、そのまま寄贈となる例が多い。今後も、受け入れ件数の増加が見込まれることから、保管場所を確保するとともに計画的に整理・公開を進めていく必要がある。また、古文書解読講座等の主催行事の機会をとらえて、歴史資料を後世に伝えていくための意識付けをはかる普及活動を行っていきたい。

④ 歴史公文書の収集・保存

<目的・概要>

- ・長岡市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存する。
- ・災害復興関連の歴史公文書を長岡市災害復興文庫として整理する。

歴史公文書の保存箱



歴史公文書の整理作業



<実績>

(今年度実績)

- ・歴史公文書の目録件数 669点(61箱)
内長岡市災害復興文庫の歴史公文書 107点(8箱)
- ・保管場所 旧半蔵金小学校・旧種芋原小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書(情報公開対応)の問い合わせ件数 2件

(昨年度実績)

- ・歴史公文書の目録件数 831点(75箱)
内長岡市災害復興文庫の歴史公文書 97点(14箱)
- ・保管場所 旧半蔵金小学校・旧種芋原小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書(情報公開対応)の問い合わせ件数 2件

<課題・今後の方向性>

- ・歴史公文書の収集・保存に関する基準を再検討する。
- ・電子化された公文書の収集・保存方法を検討する。

⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

<目的・概要>

- ・災害と復興の経験・教訓を後世に伝える。
- ・被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。
- ・災害復興関連の歴史公文書を災害復興文庫の資料とする。
- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新などの連携を強化する。
- ・長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。
- ・機関誌やホームページなどとおして、県内外に情報発信を行う。

長岡市資料整理ボランティア（古文書整理）



長岡市資料整理ボランティア（新聞資料整理）



<実績>

（今年度実績）

- ・長岡市災害復興文庫事業
 - 長岡市資料整理ボランティア&十日町市古文書整理ボランティア交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
 - 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に資料整理ボランティアの活動記録写真、資料整理ボランティア通信など81点を新規コンテンツとして追加した。
- ・長岡市資料整理ボランティアは、延べ8回活動、延べ87人の参加があった。
- ・新潟歴史資料救済ネットワークは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため連携事業は中止。

（昨年度実績）

- ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に中越大震災時に太田コミュニティセンター

で撮影された記録写真131点を新規コンテンツとして追加した。

- ・長岡市資料整理ボランティアは、延べ16回活動、延べ159人の参加があった。
- ・新潟歴史資料救済ネットワークは、山古志地域で1回活動、21人の参加があった。

<課題・今後の方向性>

- ・平成26年10月に開設した「長岡市災害復興文庫」の市民へのPRを継続するとともに、歴史公文書の収集・保存などの充実を図っていく必要がある。
- ・今後も、国立国会図書館との連携などをおして、県内外の文書館・図書館・博物館とのネットワークの構築を図るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、長岡市資料整理ボランティアや新潟歴史資料救済ネットワークなどにより一層の連携を図る必要がある。

2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 図書館蔵書の充実

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌などの収集、活用、保存に努める。 地域図書館の図書（ビジネス書など）の充実を図る。 	
評価	A	評価理由
		地域図書館も含めて大活字本やビジネス書の充実を図ることができたため。

② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実

事業概要	図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。	
評価	A	評価理由
		寄せられた照会に対応し、市民の調査支援を行った。

③ 図書館の環境整備

事業概要	安全・快適にご利用いただけるよう空調設備の入替等環境を整備する。	
評価	A	評価理由
		経費面の制約はあるが、優先順位をつけ整備を行った。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	利用者のニーズに応じた資料の充実や施設改修により、利用者の利便性が向上した。

(3) 個別事業の実施結果について

① 図書館蔵書の充実

<目的・概要>

- ・地域図書館充実事業費によって、各館のビジネス書や大活字本を追加した。
- ・国立がん研究センターがん対策情報センターからの情報提供によって、がん情報コーナーを設置した。

<実績>

コーナー充実



大活字本の追加



がん情報コーナーの設置

- ・地域図書館は充実資料費によって、中央図書館は寄付金によって大活字本やビジネスコーナーの拡充に努めた。
- ・国立がん研究センターがん対策情報センターからの情報提供によって、がん情報コーナーを作成、リーフレットや健康課作成のがん検診のチラシの設置を行った。

<課題・今後の方針>

- ・ビジネスの分野は、求められる情報の移り変わりのスピードが速いため、今後も資料の新鮮さを保ちながら提供できるようにしたい。
- ・コロナ禍において、雑誌の休廃刊が例年より多かった。代替りになる雑誌の購入などで対応をしている。

② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実

<h3><目的・概要></h3>	
<p>図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。</p>	
<h3>レファレンス広報</h3>	<h3>レファレンス協働データベースの活用</h3>
<p>Q 三島郡日吉村鳥越の宮大工である長谷川熊平について知りたい。</p> <p>長谷川熊平は、東京築地の本願寺別院建立に際し指揮監督を任せられ、また、三条市の浄土真宗大谷派三条別院や長岡市の金峯神社、弥彦村の弥彦神社の再建を担当するなど、全国的に活躍した宮大工の技術集団の棟梁です。</p> <p>県内でも多くの神社仏閣の建立に関わっているほか、小坂定吉や小林平次郎といった弟子の育成にも力を入れていたことなどがわかる資料をご案内しました。</p> <p>紹介した本</p> <p>『日吉村誌』 粉山 一雄／編纂主任 昭和31年 日吉村役場 『郷土長岡を創った人びと』 長岡市／編集 平成21年 長岡市 『長岡ふるさと大百科 決定版』 平成17年 郷土出版社</p> <p>広報誌「図書館の窓から」で事例を紹介、広報を行っている。</p>	 <p>全国の図書館約 600 館が加入、レファレンス事例約 25 万件が登録されている。事例の調査を参考にしている。</p>
<h3><実績></h3>	
<ul style="list-style-type: none"> 今年度は60件のレファレンスがあった。調査して回答できない場合は、文書資料室や県立図書館に調査協力を依頼し対応した。(令和元年度 52 件) 例) ・与板藩主井伊直安が欧米に留学した時の自伝「欧米各国遊覧」が現在存在するか。 <ul style="list-style-type: none"> 昭和12年にヘレン・ケラーが長岡を訪問した時の新聞記事をさがしている。 広報誌「図書館の窓から」(No. 169、170)でレファレンス事例を紹介した。 国立国会図書館レファレンス協働データベースに5件のレファレンス事例を登録した。 パスファインダー5件を作成し、配布した。 レファレンス研修(実習)を行った(中央館 14名参加) 	
<h3><課題・今後の方針></h3>	
<ul style="list-style-type: none"> レファレンスについては、図書館内で協力して調査している。必要に応じて文書資料室や新潟県立図書館など関係機関に照会、協力依頼を行う。また国立国会図書館のレファレンス協働データベース等各種レファレンスツールを参考にしている。さまざまな照会に対応できるよう職員のスキルを向上させる必要がある。 広報誌「図書館の窓から」等で紹介・広報を行うことで、広く市民にレファレンスを知ってもらいたい。 	

③ 図書館の環境整備

<目的・概要>

- (1) 図書館を安全・快適にご利用いただけるよう施設の改修等を行う。
- (2) 安心してご利用いただけるように、コロナウィルス感染拡大予防を強化する。

<実績>

(1) 日常の点検や利用者のご意見等から必要なものを選び、優先順位をつけ整備・改修を行った。

- 中央図書館 天吊水銀灯等照明器具の改修
空調設備の部品交換
非常用自家発電機触媒栓の交換
樹木剪定作業業務の委託



中央図書館
エントランス照明

- 地域館
 - ・南館 非常照明用バッテリーの交換
 - ・北館 空調設備の全面改修
 - ・西館 雨漏り防止工事



中央図書館
樹木(ケヤキ等)



西地域図書館 雨漏り防止

(2) 安心して図書館を利用していただけられるようにコロナウィルス感染拡大予防対策を強化した。



エントランスに AI 検知器を設置し、入館前の体温測定とマスクの着用を徹底。検知器の隣に消毒液を設置し、智指の消毒を促した。



図書館の書籍を紫外線により除菌。本に挟まったゴミや臭いを取る。

<課題・今後の方針>

- (1) 設備の老朽化により、改修しなければならない箇所が多くなっている。
限られた予算の中で、少しずつ計画的に実施していきたい。
- (2) 安心してご利用いただけるように、拡大予防対策を継続していく。

3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 所蔵資料展

事業概要	中央図書館の近年の新収蔵資料を中心に展示する。	
評価	B	評価理由
		貴重資料の初公開や講演会の実施により、長岡市立図書館の父野本恭八郎（互尊翁）の功労を顕彰することができたが、新型コロナウイルスの影響による会期の変更や短縮等で、例年に比べ、入場者数は大幅減となった。

② 広報について

事業概要	長岡市や図書館ホームページ、広報誌、SNS を利用し積極的な広報を行う。	
評価	B	評価理由
		広報活動を行ったが、テレビ・新聞等への取材につながらなかった

③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 特色資料に関連した、または地域の団体・学校などと連携した事業を継続し実施する。 調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業を展開する。 	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> 各地域図書館が持つ特色資料の関連事業の他、近隣の学校や団体と連携した事業を計画し、工夫して実施した。 学校を通じ働きかけ、「図書館を使った調べる学習コンクール」の作品応募数を大幅に減らすことなく確保できた。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
B	コロナ禍で、事業や広報について工夫したが、図書館の利用拡大（登録率、貸出冊数）につなげることができなかった。

(3) 個別事業の実施結果について

① 所蔵資料展

<目的・概要>

【名 称】新収蔵資料展～長岡市立図書館の父 互尊翁が遺した著作を中心に～

【内 容】昨年日本互尊社から長岡市に寄贈された資料を中心に近年の新収蔵資料を一挙公開した。

【主な資料】日本互尊社旧蔵野本恭八郎関連資料、小林虎三郎、武石貞松、夏目漱石、堀口大學、松岡譲、三島億二郎、水島爾保布、山本五十六、与謝野晶子、坂牧善辰ほか

【点 数】約 300 点

【会 期】令和 2 年 12 月 4 日（金）～12 月 16 日（水） 11 日間

【関連講演会】

演題「野本恭八郎の図書館理念と互尊文庫～如是蔵博物館収蔵資料をひもといて～」

令和 2 年 12 月 5 日（土）14：00～15：30 講師 当館文書資料室長 田中洋史

会場風景



講演会



<実績>

- ・ 入場者数 452 人、・ 講演会参加者数 95 人
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、当初 7 月中旬から 8 月中旬に予定していた会期を変更しての開催となった。会期が予定の半分となり、例年に比べて入場者数は大幅減となった。
- ・ 図書館ユーザーが中心であったが、市外や県外からの来場者もあった。
- ・ 野本恭八郎の人生や思想、長岡初の市立図書館初代互尊文庫開館までの歴史などを知ることのできる貴重な機会となった。
- ・ 貴重な郷土資料の収集と公開という図書館業務の重要性や意義を PR できた。

<課題・今後の方針>

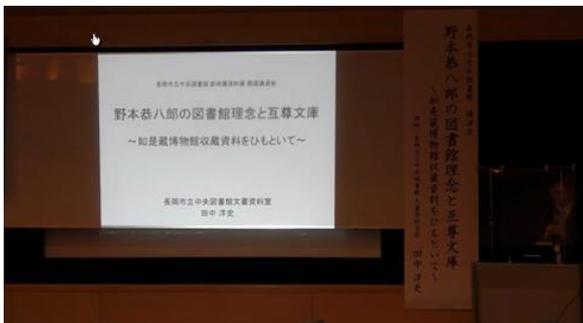
- ・ 所蔵品の公開を目的とした展覧会を継続していくにあたり、内容がマンネリにならないよう、テーマや構成などに工夫が必要。
- ・ 新聞やテレビに取り上げてもらえるような積極的な広報が必要。

② 広報について

<目的・概要>

- (1) 図書館ホームページ、Facebookなどで広く広報を行い、来館者の増加を図る。
- (2) テレビ・ラジオ等への出演や新聞・雑誌への寄稿により図書館のPR活動を行う。

図書館ホームページ



12/5 講演会 「野本恭八郎の図書館理念と互尊文庫」
動画記録

フェイスブックでの情報発信



<実績>

(1) 図書館ホームページ、長岡市ホームページ、Facebookなどで広報を行った。

① 図書館ホームページ更新回数 193回

講演会の動画を掲載することで、当日参加できなかった方も視聴が可能

② Facebook 更新回数 125回 (臨時休館中も毎日情報発信を行った)

リーチ数最大：「中央図書館24時 夜の図書館を楽しむ会」イベントページ 5829件

(2) 報道リリースを行い、取材や周知の依頼を行う。また、テレビ・ラジオ等に出演しての図書館PR、新聞等に書評記事等を寄稿し広報活動を広げる。

①新聞記事掲載件数 18件

②マスコミへの出演・寄稿

- ・BSN ラジオ「高橋なんぐの金曜天国」(5月10日)
- ・新潟日報ふむふむ 小学生対象おすすめ本紹介(11月27日)
- ・NHK新潟放送局 新潟ニュース610「半藤一利さん著作コーナー」(1月15日)
- ・『図書館雑誌』令和3年3月号「図書館員のおすすめ図書」書評掲載

(3) その他

アオーレ総合窓口待合スペースにて、図書館PR映像を放映

*来館者数実績

令和2年4月～令和3年3月の来館者数 238,603人 (目標値218,800人)

<課題・今後の方針>

- ・ホームページやフェイスブックで情報発信回数を増やし、内容を工夫することで、来館者の増加につなげる。
- ・新聞・ラジオ等マスコミに露出することで、図書館の認知度向上を図る。

③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

<目的・概要>

特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業を継続し実施するほか、図書館資料を活用した事業を展開する。

<取り組みごとの内容・評価・課題>

○特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業

長岡空襲写真・体験画展示、長岡戦災資料館ブックトーク



互尊文庫ロビーでは長岡空襲写真・体験画を展示し、長岡戦災資料館へ出張してブックトークを行った。

「生物多様性の本箱」コーナーの展示



中之島地域図書館では生物多様性の本箱の関連資料と一緒に昆虫標本を展示した。

<実績>

各地域図書館では、近隣にある団体や学校と連携した事業を定期的に行っていたが、今年度はコロナウィルス感染拡大防止のため思うように連携をとることができなかった。

【長岡空襲写真・体験画展示、長岡戦災資料館ブックトーク】

互尊文庫では非核・平和を特色資料として収集しており、長岡戦災資料館より借り受けた長岡空襲の写真（複製）と体験画（複製）を展示した。また、今年は新潟県立歴史博物館の「戦後75年—私の戦争体験記—」の企画展示に合わせたテーマ本コーナーを設置し、利用につながった。8月9日には長岡戦災資料館で「長岡空襲」をテーマにブックトークを行い、戦争体験を語り継ぐ資料を紹介した。慰霊の花火を意味する長岡花火の歴史を認識してもらうことができた。

【「生物多様性の本箱」コーナーの展示】

中之島地域図書館では、環境省が事務局である国連生物多様性の10年日本委員会が選定した図書「生物多様性の本箱」を中心に関連資料のコーナー展示を行った。長岡市立科学博物館にご協力をいただき、6箱の昆虫標本をお借りし、資料と併せて展示した。標本が素晴らしく、大人から子どもまで多くの方に足を止めていただける展示となり、再度来館される方もおられた。今年度は他にも南地域図書館では長岡農業高等学校と、栃尾地域図書館では栃尾東小学校や地域との連携イベントを計画していたが、中止になった。

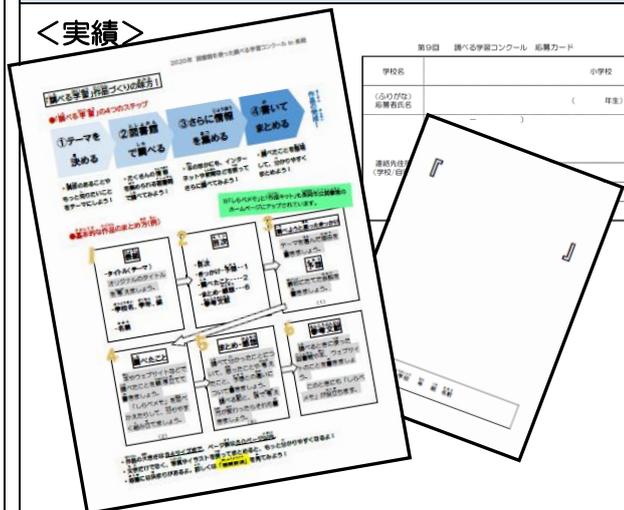
<課題・今後の方針>

今年度はコロナウィルス感染防止のため中止になるなど地域の団体や学校と思ような連携がとれなかったが、新しい生活様式を取り入れ、できる限り連携をとりながら図書館資料を活用いただける事業を展開していきたい。

○図書館資料を活用した事業（図書館を使った調べる学習コンクール in 長岡の実施）

事前説明会

<実績>



「作品づくりのコツ」や書式に沿って書き込むと作品が出来る「作成キット」、コンクールへの「応募カード」をホームページで公開した。

審査会の様子



中央図書館講座室を会場に審査会を行った。審査員の方々には作品をじっくりご覧いただいた。

<実績>

今年度は市内 24 校の児童から 109 作品の応募があった（昨年度は 24 校 123 作品）。毎年、夏休み前に各図書館を会場に事前説明会を行っていたが、今回は感染拡大防止のため説明会を行わず、図書館のHPに今まで説明会で配布していた『作成キット』などを掲載し、ダウンロードして使ってもらった。説明会がないことでコンクールや作品作りについての電話での問い合わせもあったが、HPに掲載されているデータについてご案内したところ活用していただいた。事前に「今回は夏休みが短く、思うように時間をかけて作品作りができないので今回は参加を見送る」と話をしていた児童がいたことを聞き、応募数の大幅な減少も覚悟していたが、昨年と同数の学校から応募があり、作品数も昨年を少し下回る数値でおさえられた。調べる学習コンクールが浸透しつつあることを実感した。

今回は低・中学年の作品の完成度が高いとの審査員の評価が多く、全国コンクールには低学年から 2 作品、中学年から 1 作品が推薦となった。

<課題・今後の方針>

説明会を開けなかったことで十分な周知ができず、応募作品に参考文献の記載がないなど作品作りの基本が欠けているものがあった。感染防止対策を行った上で短い時間でも説明する機会を作り、図書館資料を活用したコンクール作品を出品してもらうよう働き掛けたい。

4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

事業概要	平成29年度に策定した「第2次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え、読書機会の増進を図るための事業として実施する。	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間イベントや学校でのブックトーク等をはじめ、子ども読書活動推進につながる数々の行事を実施することができた。 ・キッズパックが好評で、延べ1,004回(3,012冊)の貸出しがあり、大変好評であった。

② 子ども向け図書館サービスの充実

事業概要	夏休み等を利用して、子どもたちが読書を始めきっかけとなり図書館や本に親しむことができる行事を行う。	
評価	B	評価理由
		コロナ対策をした上でイベントを行ったが、参加者数は減少した。

③ 学校向け図書館サービスの実施

事業概要	図書館から遠い地域にある小学校への米百俵号の巡回や、学級文庫として活用してもらう学校配本、授業用の本の貸出など、学校図書館の蔵書を補う。	
評価	A	評価理由
		小学校に直接本を届けることで、自力では図書館に来られない子どもたちに本を届けることができた。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	キッズパックや各種イベント等の取り組みを通じて、子どもの読書活動の推進につながる活動ができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

＜目的・概要＞	
<p>平成29年度に策定した「第2次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え、読書機会の増進を図るための事業として実施する。多くの事業を展開する中で、今年度は次の事業を取り上げ評価する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 読み聞かせボランティア養成講座の実施2. キッズパック（幼児向け絵本の3冊パック）の貸出	
読み聞かせボランティア養成講座	キッズパック
 <p>講師による絵本読み聞かせの実演</p>	 <p>児童コーナーに設置したキッズパック</p>
＜実績＞	
<ol style="list-style-type: none">1. 読み聞かせボランティア養成講座 【目的】ボランティア初心者・経験者、学校司書等を対象とし、子どもの年代別に読み聞かせの基本を学んでもらい、ボランティア活動再開への足掛かりとする。 【日時・内容等】令和3年3月27日（土）13：00～16：10 ① 読み聞かせの基本（13：00～14：00） ② 赤ちゃんから小学生まで年代別選書（14：00～15：00） ③ 絵本でSDGs（15：10～16：10） 【講師】朝日仁美さん（JPIC 読書アドバイザー、絵本専門士、糸魚川市教育委員会学校司書他） 【参加人数】65人 【反響等】アンケートで「基本を学べた」「知らない多くの絵本を知ることができた」「SDGsを初めて知った」等多くの感想が寄せられ、54人（回答56人）が、この講座を満足と答えた。2. キッズパック 3歳から5歳を対象とした幼児向けの絵本を3冊セットにして8月から貸出をした。「ふしぎふしぎ」「しぜんっていいな」「おはなしのせかいへ」などの15テーマを設けた。司書があらかじめ選んだ絵本をセットにしているため、本を選ぶ時間のない方や成長の過程で何を読んだらよいか悩んでいる方に好評であった。 利用者からは「急いでいるとき簡単に借りられるから便利」といった感想をいただいた。	
＜課題・今後の方針＞	

- ・ボランティア養成講座の実施を今後も継続しつつも、コロナ禍における読み聞かせボランティアの受入や安全の確保等について十分な検討が必要。
- ・ベビー・キッズパックが大変好評であった。今後、継続して発達段階に応じた読書の普及を図りたい。

② 子ども向け図書館サービスの充実

<目的・概要>

【としょかんサマーチャレンジ】全館共通行事

- ・熱中！感動！夢づくり教育事業の一環として、乳幼児から小学生を対象に全館で実施。
- ・期間中（7/11～8/30）に本を30冊読んでもらうことを目的とする「めざせ30冊コース」と、図書館に親しんでもらうことを目的とする「チャレンジコース・としょかん de ビンゴ」の2種を用意し、チャレンジしてもらう。それぞれの達成者には賞状や記念品をプレゼントする。読む本は、市内図書館ほか学校図書館や家庭の本でも可とする。

【子ども一日図書館】全館共通行事

市内小学校の5・6年生を対象に募集し、図書館の仕事を体験してもらう。

としょかんサマーチャレンジ



ビンゴに挑戦

子ども一日図書館員



返却カウンター体験

<実績>

【としょかんサマーチャレンジ】

- ・「めざせ30冊コース」30冊達成：210人、20冊達成：230人、10冊達成：270人
- ・「チャレンジコース☆としょかん de ビンゴ！」501人

参加人数は毎年若干の変動があるが、参加する子どもたちが熱心に取り組む姿が見られ、読書や課題を解決した達成感を得ることができた。

【子ども一日図書館員】

・例年は春の「こどもの読書週間」に合わせて行っている行事を、コロナウィルスの影響で、秋の「読書週間」にスライドし、11/7（土）11/8（日）に実施。定員を少なくするなどコロナ対策をとっての開催となった。

・参加人数 10人（全館）

<課題・今後の方針>

【としょかんサマーチャレンジ】

・【めざせ30冊コース】エントリーカードの配布方法（枚数・対象）など、より効果的な広報手段を検討したい。赤ちゃんから小学生まで多数が参加でき、密にならない行事は貴重であるため、今後も工夫を加えながら継続していきたい。

【子ども一日図書館員】

・参加者数は減少したが、その反面、子ども一人一人に手厚い指導ができたため、内容は充実したものとなった。密を避け少人数で回数を増やすなど、受入数拡大のための検討をしたい。

③ 学校向け図書館サービスの実施

<目的・概要>

- ・読書旬間等に小・中学校を訪問し、年代にあったおすすめの本を紹介するブックトークを実施。
- ・図書館から遠い地域の小学校に米百俵号で巡回し、本の貸出や読み聞かせを実施。
- ・希望する小学校に学級文庫として使える本の貸出を行った。
- ・「米百俵号ブックカーニバル」では、夏休み期間に児童館・児童クラブを訪問し本の貸出を行う。
- ・「授業用図書セット貸出」小中学校で授業に使用する本を40冊まで2週間の貸出を行う。



子どもたちの興味をひくようにクイズ形式を取り入れ工夫して本を紹介した。（ブックトーク）



米百俵号に乗車する順番を待つ子どもたち。（米百俵号ブックカーニバル）

<実績>

【ブックトーク】

小学校 公演数 26回 参加者数 1,141人

中学校 公演数 3回 参加者数 70人

【米百俵号による巡回】

小学校 訪問数 27校 回数 年10回ずつ

【学校配本】

小学校 実施校数 44校 配送箱数 590箱（1箱35冊）

【米百俵号ブックカーニバル】

・夏休み中のイベントとして児童館や児童クラブから毎年好評である。

（今年度実績） 9回実施 参加者数 147人 貸出冊数 595冊

（昨年度実績） 7回実施 参加者数 213人 貸出冊数 339冊

・【授業用図書セット貸出】130件（令和3年1月25日現在、全館分）

<課題・今後の方針>

・米百俵号での訪問や学校でのブックトーク・おはなし会の際には、コロナ対策をしっかりと行いながら今後も事業を継続したい。

・小学校で実施している配本を児童館や中学校にも拡大していきたい。

5 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

(1) 重点事業の事業別評価について

①利用者アンケートの実施

事業概要	毎年夏期にアンケートを実施し、利用者のニーズを把握することにより、運営に役立てる。	
評価	A	評価理由
		アンケートにより利用者のニーズを把握し、リクエスト図書を採用基準の周知や資料の状態確認の徹底など業務に活かすことができた。

②友の会事業

事業概要	利用者が集い、読み聞かせや書架整理などの様々な活動を通じて図書館を支援いただく。	
評価	AA	評価理由
		恒例行事は自粛となったものの、初の試みである「夜の図書館」やオンライン講演会を開催し、事務局も適切な支援を行った。

③ご意見ポストの設置

事業概要	寄せられた意見を毎月集約し、図書館運営に反映させる。	
評価	A	評価理由
		評価はおおむね良好であり、意見への対応も全て検討し可能な限り改善した。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	おおむね順調な業務・活動を行っており、寄せられた意見に対応した。

(3) 個別事業の実施結果について

① 利用者アンケートの実施

＜目的・概要＞											
<p>例年どおり実施し、昨年との比較や現状の利用者の意見を把握する。</p>											
<p style="text-align: center;">【中央図書館】</p> <p>＜利用者アンケート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 館内や本棚の表示について ○ 本の種類の充実度について ○ 希望する本の分野について ○ 希望するサービスについて <p style="text-align: right;">など</p>	<p style="text-align: center;">【地域図書館】</p> <p>＜利用者満足度アンケート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタッフについて 挨拶や言葉づかい、接客対応など（3項目） ○ 施設の快適さについて 設備、分かりやすさ、案内情報（4項目） ○ 図書館サービスについて 資料の充実、展示物などについて（5項目） 										
＜実績＞											
<p>○ 中央図書館のアンケート（窓口：8月25日～30日、HP：8月25日～9月30日）</p> <p>窓口では、貸出しカウンターで配布。窓口対応については、「大変よい」＋「よい」が87.9%と概ね好評をいただいた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">（今年度実績）</td> <td style="padding: 2px;">配布数 819</td> <td style="padding: 2px;">回収数 677</td> <td style="padding: 2px;">回収率 82.66%</td> <td style="padding: 2px;">Web 76件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">（昨年度実績）</td> <td style="padding: 2px;">配布数 596</td> <td style="padding: 2px;">回収数 539</td> <td style="padding: 2px;">回収率 90.44%</td> <td style="padding: 2px;">Web 32件</td> </tr> </table> <p>○ アンケート結果への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応については毎年意見にあがるため、一層注意を払うよう心がける。 ・返却本の状態確認について、より一層の確認を行う。 		（今年度実績）	配布数 819	回収数 677	回収率 82.66%	Web 76件	（昨年度実績）	配布数 596	回収数 539	回収率 90.44%	Web 32件
（今年度実績）	配布数 819	回収数 677	回収率 82.66%	Web 76件							
（昨年度実績）	配布数 596	回収数 539	回収率 90.44%	Web 32件							
<p>○ 地域図書館のアンケート（8月1日～16日）</p> <p>（今年度実績） 配布・回収数 901（全て回収）</p> <p>（昨年度実績） 配布・回収数 948（全て回収）</p> <p>今年度はコロナウィルス感染防止のため来館者が少なくなっている中、来館者にご協力をいただき、回収数をある程度確保できた。今回もスタッフの対応については良い評価をいただき、開催したイベント名をあげての感想もいただけた。</p>											
＜課題・今後の方針＞											
<p>【中央図書館】</p> <p>貸出カードのアプリに関する意見があり、準ずるものとして、スマホのマイライブラリ（HPの個人ページ）に貸出カード番号を表示・カードとして利用できる機能を運用開始した。</p> <p>【地域図書館】</p> <p>要望としては資料の充実に関するものが多く寄せられた。また、互尊文庫では施設そのものに関心のある意見、栃尾地域図書館では新しい施設への期待の声が寄せられていた。</p>											

② 友の会事業

＜目的・概要＞	
<p>図書館支援団体として図書館と連携し、活動を運営に活かす。</p>	
オンライン講演会	夜の図書館「中央図書館24時」
<p>10月16日（金）10時30分～15時30分 一般参加者 11名 長岡図書館友の会会員参加者 2名</p>  <p>「図書館の未来を考える」というテーマで、鳥取県立図書館の講演会をオンラインで中継を行った。公演は3部に分かれ、海外の図書館事例や公民連携による運営、デジタルコンテンツについて等、それぞれ異なった視点からの講演が行われた。参加者からは「とても考えさせられた」「面白かった」等のコメントが寄せられた。</p>	<p>11月7日（土）19時～24時 来館者 132名 長岡図書館友の会会員参加者 4名</p>  <p>開館以来初めて、1階閲覧室を24時まで開放した。馬頭琴演奏と絵本の読み聞かせや大人向けのワークショップ、書庫見学をはじめ、多くのイベントを実施。参加した会員も各自がイベントを担当し、積極的に運営に携わった。来館者からは「ぜひ来年も開催してほしい」と大変好評だった。</p>
＜実績＞	
<p>コロナウイルスの影響により、例年開催している「視察研修」や「なりふ古本市」が中止となったが、「オンライン講演会」、「夜の図書館」と新たな取組を行うことができた。特に「夜の図書館」は多くの来館者から次回開催の希望があったため、時期等の再検討や会員の要望も聞きながら、図書館活動の応援に繋がる取組として、今後も開催を継続していきたい。</p> <p>（今年度実績） オンライン講演会、夜の図書館「中央図書館24時」、書架整理、布絵本の会、つぐみの会など 個人会員 23名 賛助会員 9名</p> <p>（昨年度実績） なりふ古本市・映画会開催、書架整理、おはなし会、布絵本の会、つぐみの会、柏崎市立図書館の視察受入など 個人会員 42名 賛助会員 9名</p>	
＜課題・今後の方針＞	
<p>新しい取組を継続しつつ、視察研修・古本市の再開を目指し、幅広い世代に友の会について知ってもらうことで、新規会員の加入促進に繋げたい。また、今後も会員が主体となった企画・運営の取組みへの支援を行い、より魅力的な図書館サービスを行いたい。</p>	

③ ご意見ポスの設置

＜目的・概要＞	
<ul style="list-style-type: none"> 開かれた図書館とするため、利用者の意見や要望を広く収集し、今後の運営に役立てる。 意見の回答を掲示するとともに、事業改善を行う。 	
＜主な要望＞	
(中央図書館) <ul style="list-style-type: none"> 延滞者への督促をもっと強くしてほしい。 新しいCD・DVDを入れてほしい。 1階トイレのドアや個室を改修してほしい。 貸出カードをアプリ化してほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	(地域図書館) <ul style="list-style-type: none"> 食事をする場所を設けてほしい。 もっとお菓子作りの本がほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>
＜実績＞	
(中央図書館) <ul style="list-style-type: none"> 毎月意見を集約し、可能な限り対応した。 窓口対応については、おおむね好評価をいただいている。 延滞者への対応として、エントランスに注意喚起のポスターを掲示した。 1階トイレについては、今後ドアをはじめとしたトイレ全体の改修を考えている。 リクエスト（購入希望）を断る理由について教えてほしい旨の意見がいくつかあったため、リクエストを断るケースで多いものについてHPへの掲載及び館内に掲示を行った。 貸出カードのアプリに準ずるものとして、スマホ等を対象に図書館HPの個人用ページ（マイライブラリ）に貸出カード番号を表示し、カードの代わりとして利用できる機能を運用開始した。 	
(地域図書館) <ul style="list-style-type: none"> 意見に対し可能な限り対応した。 1階と3階のロビーに飲食スペースを設置している旨回答した。 (子どもからの意見であったので) 現在児童向けのお菓子作りの資料が料理の資料の中に含まれているものも入れると40冊ほどあり、古い資料は今後少しずつ新しいものと入替していくと回答。 	
＜課題・今後の方針＞	
<p>普段職員が気づきにくいことについての意見が多かったため、利用者の目線に立ったサービスの改善を一層心がけていく必要がある。</p>	

6 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 外部研修・遠隔研修

事業概要	県立図書館主催の研修等に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し図書館職員としてのスキルアップをめざす。	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、研修の概要を参加者が全体会議や係研修で報告し、情報の共有を図った。 ・昨年度に比べ参加人数が減少したものの、研修の成果を有効に活用している。

② 職場内研修

事業概要	職員全体での研修会を行い、職員全体の資質の向上を図る。	
評価	A	評価理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館では係内研修を2回行うほか、少人数でブックトーク練習会や新聞マイクロフィルムの使い方講習、データベース研修を行うなど工夫した。 ・地域図書館では県内スタッフが集まる研修を感染拡大防止のため中止としたが、休館中にはTRCが受託館に配信するeラーニングを活用した研修を行った。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	外部研修・職場内研修ともに予定通り実施し、成果を上げることができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 外部研修・遠隔研修

<目的・概要>

- ・新潟県立図書館などが主催する研修に職員を参加させ、また、研修で取得したことを職員間で共有し図書館職員のスキルアップを目指す。
- ・地域図書館では、県立図書館主催の外部研修に今年度も積極的に参加する。

<参加研修>

①新潟県公共図書館新任職員研修	中止
②新潟県公共図書館児童部門研究集会	12月9日(中央館1名、地域館5名参加)
③著作権セミナー	8月28日(中央館1名参加)
④子ども読書レベルアップ研修	9月3日(中央館2名参加)
⑤国際子ども図書館児童文学連続講座	9月10日(中央館2名参加)
⑥新潟県公共図書館中堅職員研修会	9月30日(中央館3名参加)
⑦新潟県公共図書館総合部門研究集会	10月21日(中央館4名、地域館3名参加)
⑧図書館総合展	11月(中央館9名参加)
⑨全国図書館大会	11月20日～30日(中央館19名参加)
⑩関東・甲信越静地区図書館地区別研修	12月1～4日(中央館3名参加)
⑪障害者サービス担当職員向け講座	12月15日～16日(中央館1名)
⑫新潟県内図書館実務担当者会議	12月16日(中央館1名)
⑬読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修	2月1, 8, 15日(中央館1名)
⑭新潟県公共図書館職員専門研修	3月3日(中央館3名)

*⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑬⑭はオンライン開催

<実績>

(今年度実績)	中央図書館	50名	参加	地域図書館	8名	参加
(昨年度実績)	中央図書館	43名	参加	地域図書館	20名	参加

- ・中央図書館では、昨年度と同様に県内外での研修へ積極的に参加し、先進地の事例や最新の機器、サービスの動向情報を得ることができた。係研修で情報共有し、今後の業務に活かしたい。
- ・地域図書館では職場内研修と日程が重なったり、人数制限があったりと、県立図書館等が主催する研修になかなか出席できなかったが、自館で受講できるオンライン研修には積極的に参加した。

<課題・今後の方針>

○中央図書館

外部研修の成果(情報)を職員間で共有し、業務改善に取り組み、長岡市の事業としてどう反映させるか検討していく必要がある。

○地域図書館

県立図書館主催の外部研修には今後も継続して参加していきたい。勤務人数の都合上、全館平等に参加することが難しいが、遠隔研修を利用し参加する機会を増やしていきたい。

② 職場内研修

<目的・概要>

- ・係研修を行ったり、外部研修に派遣された職員が講師となり研修報告会を行ったりすることで、職員の資質や専門性向上・情報共有を図る。
- ・地域図書館ではスタッフの能力育成のため、図書館員としての知識やスキルを向上させる地域館合同研修を行っている。

<研修内容>

○中央図書館

- ① 消防避難訓練 11月30日 33名
- ② 係内研修（読み聞かせ・ブックスタート） 8月31日 28名
- ③ 新潟県立図書館訪問研修 7月31日レファレンス研修 14名参加
- ④ 図書館の高齢者サービス 2月18日 中央館33名参加 地域館7名参加
- ⑤ 県立図書館訪問セミナー「地域資料の収集と活用」3月4日 5名参加

○地域図書館

- ① 長岡・燕・三条合同研修 6月29日、6月30日 感染防止のため中止
- ② 長岡全体研修 9月30日 参加人数34名（中央館21名参加）
ポプラディアの利用について 講師：ポプラ社 齋木小太郎氏
- ③ 各館研修 4月下旬 著作権について（38名参加） TRC配信eラーニングで受講

<中央図書館、他市TRC研修への参加>

- ① TRCステップアップ研修（3名参加） 9月15日
- ② TRCステップアップ研修（6名参加） 10月6日
- ③ TRCレベルアップ研修（9名参加） 11月12日
- ④ オンラインコーチング研修（2名参加） 1月22日または2月9日
- ⑤ TRC新人研修（6名参加） 1月27日

<実績>

（今年度実績）	中央図書館	5回実施	地域図書館	3回実施
（昨年度実績）	中央図書館	5回実施	地域図書館	3回実施

中央図書館では係研修を行うほか、新潟県立図書館に依頼、講師派遣研修を行った。また、休館日に少人数でブックトーク研修やデータベース研修を行った。

地域図書館では県内スタッフが集まる研修を感染拡大防止のため中止としたが、休館中にはTRCが受託館に配信するeラーニングを活用した研修を行った。調べる学習で活用することの多いポプラディアに関する研修を初めてオンラインで実施し、講師から遠隔で指示を受け、グループワークも行うことができた。実践につながる研修となり、新しい研修の形を体験した。

<課題・今後の方針>

中央図書館では、図書館事業をより充実させるため、サービス向上につながる研修を継続して行いたい。係研修のほか、少人数での研修を行うなど、係全体のスキルアップを図りたい。

地域図書館では、動画コンテンツを活用した研修を取り入れており、スタッフのスキルアップにつながる研修を継続して行いたい。